

The 138th GREEN Seminar



高温超伝導コイルの基盤技術と機器応用

—高磁場化と小型化を支える研究開発—

Chair : 大崎 博之 (GREEN)

柳澤 吉紀 ユニットリーダー

(理化学研究所 生命医科学研究センター 次世代マグネット開発連携ユニット)

高温超伝導線材は、従来線材の限界を超える高磁場発生と、磁石の小型・高性能化を可能にします。一方、その機器応用には、特性劣化、クエンチ保護、超伝導接続など、材料からシステムまでを横断する課題があります。

本講演では、31.4テスラの磁場発生や2年間の永久電流運転を含む約20年間の研究を振り返り、線材評価、コイル基盤技術、機器応用への展開を紹介します。さらに、国内外の超伝導応用分野を俯瞰し、今後注力すべき技術開発と産学官連携の方向性について議論します。

開催場所: NIMS千現地区

研究本館 1階 第2会議室 #158-159

開催日時: 2026年8月24日 (月) 14:00-15:00

言語: 日本語

連絡先: OHSAKI.Hiroyuki@nims.go.jp